

くお願いいたします」。吉田会員→「今回もまた久しぶりとなりました」。伊丹会員→「今日は桑田様のお話楽しみです」。以下、感謝をこめてニコニコへ。田中会員、大矢会員、安藤志子会員、岡本会員、箕輪会員、内藤会員、渡邊会員、玉井会員、山口福枝会員、碓井会員、井上勇会員、寺尾会員、安藤登会員、中村会員、結城会員、服部会員、佐々木会員、山崎会員、中島眞一会員、山口篤会員、鴨志田会員、鈴木会員、田内会員、尾崎会員、中島健児会員、安藤亨会員、井上久会員。

<出席委員会> 井上勇委員長

	会員	出席	欠席	マーク	出席率
第1489回	45※	38	7		84.44%
第1488回	45※	36	9	4	88.89%

*出席免除会員1

<ニコニコ・財団・米山委員会>

	今回		累計	
ニコニコ	34件	44,000円	1,059件	1,175,000円
財団	0件	0円	70件	527,000円
ベネファクター	0件	0円	2件	216,000円
米山	0件	0円	50件	716,000円

本日のプログラム

<招聘卓話>

元読売巨人軍のプロ野球選手として数々の輝かしい功績を収め、その後メジャーリーガー、現在はスポーツ評論家で早稲田大学院生の桑田真澄様です。

僕は今振り返ると「本当に自分がやったのかな？」という感じで、もう1度同じ事はおそらくできない位の成績やタイトル、記録を作りました。でもそんなにスゴくない。僕の人生観と哲学を話します。

1つは「努力」という言葉です。世の中には全て、表と裏、光と影とあるように「努力」にも二通りの解釈があると思います。僕は4月1日生まれで体が小さく、挫折の連続でした。2才からやっていた得意の野球も、上手いからこそイジメにあい3年生で挫折。中学生になる時母から「あなたの人生このままでいいの？何か目標を立てなさい」と言われ、堂々と目標を口にするものの、現実からは程遠く、はっと気付かされました。中学入学後は「俺すごいな。俺はやったらできる」という発想の転換で、ビリからどんどん成績を上げました。練習で時間がない中、短時間集中型で毎日コツコツ30分だけ勉強し、また

何か方法がないか探して、それを実行するのがたまたま楽しくかったです。気が付くと野球も自然と上手くなり、周囲に敵なしでした。

特待生として自信満々でPL学園に入り、清原君に会いましたが、コンプレックスでまた挫折しました。母から「最後まであきらめちゃダメ。あなたらしく」。と声をかけられ、自分らしく自分のペースで裏の努力として始めたのが、トイレ掃除、ゴミ拾い、雑草取り、玄関の靴揃え、挨拶や返事の声を大きくするなど、1日5分、毎日続けました。すると目に見えない力が僕の背中を押して、実力半分、影の努力半分の力が働き、PL学園時代、プロ野球人生も生きてきたのです。

2つ目は「試練」という言葉です。試練の辛い、悲しい、苦しいというイメージを、僕は練習し鍛錬して試合で自分を試すという、挑戦する意味合いに受け取り、ダルマさん精神でどうやって起き上がるかばかり考えていたプロ生活の23年間でした。

最後に「本物に触れる」という事も大切にしてきました。自分の目で見て触れ、何かを感じるという事が生きている証です。とにかく自分の目でアメリカの野球を見たかった。そして自分の手で、足でマウンドに立って投げてみたかったです。

これからも色々な苦難があると思います。現役時代同様、努力する事、試練に向かって挑戦する事、自分の目で見て触れるという事を大切にしたいと思います。

卓話中、クイズ形式で回答した会員に握手と色紙の手渡しや、現役時代のユニフォーム、グラブなどに触れる機会もありました。長嶋監督とのうなぎパイエピソードや「くわだ」、清原元選手とPL学園時代の初顔合わせのエピソード、マウンドでの自分を鼓舞するための独り言など、普段聞けないお話をしていただきました。

